

編集後記

東経135度線上にある明石市立天文科学館の大時計は、平成7年1月17日に、午前5時46分を指したまま止まってしまいました。そこから、明石市民をはじめ市職員の復旧に向けての奮闘が始まりました。

この記録集の編集にあたって、過ぎた日々を思い起こすことは大変辛いものがありました。しかし、市民や職員の多くは被災しながらも、一日も早い復旧を祈りつつ、歯をくいしばって共に頑張ったという事実もありました。

震災を通じて、様々な人間模様が浮き彫りにされ、悲惨な状況のなかにも、人々の助け合う心や行動など、数多くの学ぶべきことからもありました。紙幅の都合でそれらのすべてを克明には掲載できませんが、その尊さや教訓は永久に忘れてはならないことと考えます。

この冊子が、市民の皆さんの防災に対する意識の向上と、今後の災害対策に少しでもお役に立てば幸いです。

編集にご協力いただきました、市民の皆さん方をはじめ神戸新聞明石総局には厚くお礼申し上げます。

明石市の災害と 復興への記録

1996年1月17日発行

発行：明石市役所
明石市中崎1丁目5番1号
☎(078)912-1111(大代表)

編集協力：株式会社電通関西支社
株式会社コミニケ



明石市